

尾鷲市立宮之上小学校

平成26年10月17日(金)に、尾鷲市立宮之上小学校の5年生、6年生あわせて44人が、尾鷲市九鬼町の「漁民の森」で、尾鷲林業を学ぶ森林学習と尾鷲ヒノキの植樹体験に取り組みました。

子どもたちは、尾鷲市木のまち推進課の職員の方々からお話を伺い、尾鷲林業の歴史や尾鷲地方に適した植栽方法「密植」について学習しました。

次に、子どもたちは1人あたり25本程度、ヒノキ苗の植樹を行いました。また、約50年生になるヒノキの間伐作業を見学し、林業における間伐の必要性について理解を深めました。

その後は、県立熊野古道センターで、オリジナルのヒノキスプーン作りを行いました。子どもたちは、作ったスプーンにオリジナルの絵を描き、スプーンを完成させました。

この活動を通して、子どもたちは森林に触れ合うとともに、森林や尾鷲林業に対する知識を身に付けることができました。



林内を歩いています



森林学習



ヒノキスプーン作り



ヒノキ苗植樹

時間	3時間30分(半日)
場所	尾鷲市九鬼町「漁民の森」
対象者・人数	5、6年生 44人
講師	尾鷲市木のまち推進課の職員
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・森林学習 ・ヒノキ苗の植樹 ・間伐作業の見学 ・ヒノキスプーン作り
備考	「みえ森と緑の県民税」市町交付金を活用した市事業「尾鷲ヒノキ植樹体験森林塾」